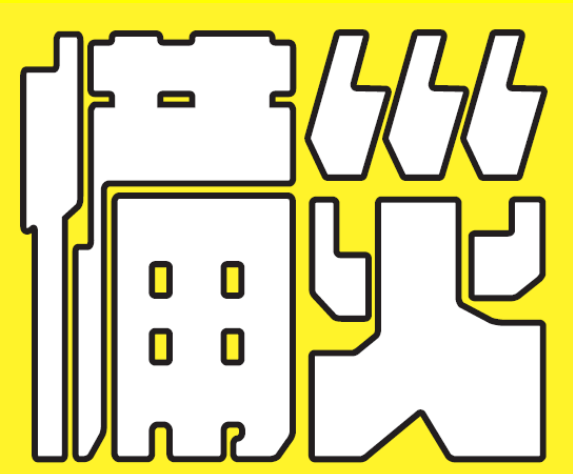


# 『備災』とは

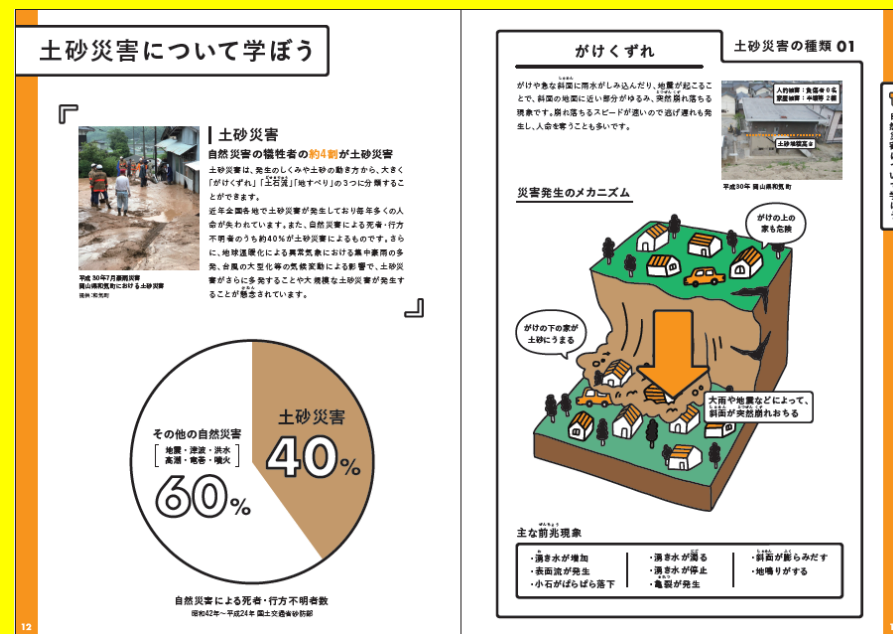


『備災』とは、災害は起こるものとして備えることです。また、『備災』の「備」は備前の頭文字で備前や備中地域をはじめとした岡山県内の生徒のみなさまに広く備災意識を持っていただきたいという願いも込められています。

「災害」と聞くと「経験していないから・・・」「恐ろしいことは何となくわかるけど・・・」「自分が遭遇することはないだろう」と多くの人を考えます。例えば、土砂災害は身近な問題としてとらえにくい災害とされています。しかし自然災害は防ぐことができません。

自分には関係ないと日頃の備えや避難を怠ると命の危険につながります。万が一ではなく、いつ起こってもおかしくはない、起こるものとして考え、備えることが『備災』です。あなた自身や大切な人のために、『備災』をはじめましょう。

## 『おかやま備災手帳』



# 備災出前講座

## 備えよう災害

近年、突然の豪雨・天気急変等により大規模な自然災害が増えています。

子どもたちを守るために何ができるのでしょうか？

「備災出前講座」を実施し、生徒のみなさまの防災教育をお手伝いさせていただいています。講座では自然災害が起きる仕組みや、自分たちでできる災害への備えを学んでいただきます。

講座申込の御希望がありましたら気軽にお問合せください。

主催：岡山県備中県民局地域づくり推進課

子供の頃からの地域に根ざした防災教育が大切であることから、学校や家庭などで活用できる防災教育教材『おかやま備災手帳』を作成しました。ホームページからダウンロードできます。  
<https://www.pref.okayama.jp/page/843520.html>

生徒のみなさまが、興味を持って学べるようにイラストや写真を豊富に取り入れた手帳です。



こちらから『おかやま備災手帳』をご覧ください。



